



Japan Ice Hockey Federation

Kishi Memorial Hall, 1-1-1 Jin-nan, Shibuya-ku, Tokyo 150-8050

[Phone] (+81)03-3481-2404 [Fax] (+81)03-3481-2407

[E-mail] jihf@jihf.or.jp

[URL] http://www.jihf.or.jp

J.I.H.F.2008~2009 発第 042 号

2008 年 7 月 29 日

加盟団体 御中

レフェリー委員会委員各位

加盟団体レフェリー委員会委員長各位

財団法人日本アイスホッケー連盟

事業本部長 谷田 順一

レフェリー委員長 山田 幸司



2008~2010 シーズンにおけるローカルルールについて [通達]

拝啓 時下ますますご清祥の段、お喜び申し上げます。平素は当連盟の活動に格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、2008 年 8 月 1 日から施行いたします「2006・2010 シーズンのローカルルール(変更版)」を作成いたしましたので通達いたします。

プレーをする選手全員の安全確保と、円滑な競技会運営の為、周知徹底にご協力くださいますようお願い申し上げます。

敬具

2008年7月25日

(財)日本アイスホッケー連盟
レフェリー委員会

2006-2010シーズンのローカルルールについて(変更版)

2008年8月1日施行

国際アイスホッケー連盟が定める国際競技規則(ルール)は、国際アイスホッケー連盟が主催する世界選手権大会における適用と運用を前提として制定されているために、そのまま日本国内の全ての大会に適用することが難しい条項が含まれています。そこで、日本国内の事情等を考慮して、国際競技規則とは異なる規定を設けた方がよいと思われる条項について、日本国内におけるローカルルールを定めましたので通達いたします。

◎ 第1章 アイスリンク

現在、国内にあるリンクは、ルールブックで規定された規格に適合しないところが多いため、各加盟団体において大会運営関係者と協議の上、対応すること。

◎ 第200条 ユニフォームを着用した選手

①ベンチ入りしなければならない最低人数

ベンチ入りしなければならない最低人数は、各競技会の主催団体が決定し、必ず大会規定等に明記すること。

(参考:ルールブックにおいては、ベンチ入りできるゴールキーパーおよびプレイヤーの最大人数が規定されている。)

②チームスタッフ(役員)

全国大会およびその予選会においては、最低1名のチームスタッフのベンチ入りを各チームに義務付けるものとする。なお、選手とチームスタッフを兼務するプレイング・マネージャーは認められない。ただし、各加盟団体主催大会等においては、競技運営関係者等と協議の上、大会規定等にプレイング・マネージャーを認める旨の規定を設けることは可能である。



Japan Ice Hockey Federation

Kishi Memorial Hall, 1-1-1 Jin-nan, Shibuya-ku, Tokyo 150-8050

[Phone] (+81)03-3481-2404 [Fax] (+81)03-3481-2407

[E-mail] jihf@jihf.or.jp

[URL] <http://www.jihf.or.jp>

◎ 第224条プレイヤーのバイザー

第226条 首とのどのプロテクター

第234条 ゴールキーパーのヘルメットとフルフェイス・マスク

- ① 大学生のプレイヤーは、フルフェイス・マスク、首とのどのプロテクターを着用しなくてもよいが、規則どおりのバイザーを着用しなければならない。ゴールキーパーについては、第234条a項を適用する。
- ② 高校の学校単位チームおよび各種クラブチームに所属し、全日本選手権および高校生以下の大会(国体少年の部を含む)に参加するプレイヤーは、フルフェイス・マスクと首とのどのプロテクターを着用しなければならない。ゴールキーパーについては、18歳未満の規則を適用する。なお、首とのどのプロテクターは、ショルダーと一緒に化したものではなく、独立したものを着用すること。
- ③ 高校生以下の大会に参加する女子プレイヤーおよびゴールキーパーは、上記条項のすべてにおいて18歳未満の規則を適用する。なお、全日本選手権等のように年齢カテゴリーが混在する大会においては、ルールブックに規定されている通りに適用する。

◎ 第227条 マウスガード

- ① マウスガードの種類については、『オーダーメイド』を奨励するが、市販のものを使用しても構わない。
- ② 大学チームに所属およびルールブックに規定されている年齢カテゴリーのプレイヤーは、国内のいかなる大会においてもマウスガードの着用を義務付ける。ただし、フルフェイス・マスク着用のプレイヤーは、マウスガードを着用しなくとも構わない。
- ③ ローカル・ルールで着用を義務付けられているカテゴリーに属しているプレイヤーのマウスピースは、着色を施したものを使用すること。
全部が白・ベージュ・無色透明などの使用は認めない。(着用の有無を確認しやすくするため、またプレー中に外れ、リンク内に放置されたときに撤去を容易にし、プレーの障害にならないようするため。)

2006-2010シーズン
ローカルルール
(変更版)

◎ 第231条 ゴールキーパーのスケート

本来のゴールキーパーが試合に出場できないような、やむをえない状況(プレイヤーがゴールキーパーにならなければならない等)では、プレイヤースケートの使用を認めるものとする。

◎ 第233条 ゴールキーパーのグローブ、第235条 ゴールキーパーのレッグガード

ゴールキーパー防具のサイズダウンの規定については、2009年～2010年シーズン終了まで(4シーズン)を、日本国内における移行のための猶予期間とし、その間は従来のサイズのゴールキーパー防具の使用を認めることとする。なお、国内で開催される国際大会および国内トップリーグチームの参加する大会については、別途規定を設けるものとする。

◎ 第240条 ユニフォーム

① 今回、背番号ならびに袖番号の大きさが変更になったが、国内においては2009年～2010年シーズン終了までを移行期間とする。なお、今後新規に製作する場合には、競技規則の規定に従って製作することを強く奨励する。背番号、袖番号の大きさの異なるユニフォームが混在しても、240条の規定には反しないものとする。

② 全国大会およびその予選会において、ユニフォームに各選手の名前を表記する場合には、必ずローマ字で連盟に登録されている姓もしくは名前にすること。姓もしくは名前のどちらか一方に統一することは要しない。他人のユニフォームを借りて出場する際には、名前の部分すべてを同一色のテープでしっかりと粘着させ、プレー進行中に剥がれないようにすること。不備があった場合、プレー中断時にレフェリーの判断でそのプレイヤーに対し交代を指示することができる。(ペナルティーは科せられない。)

※競技運営関係者等と協議の上、独自の規定を設けることは可能である。

③ ユニフォームの配色が、ルールの規定(基本となる色の割合が約80%)に明らかに違反しているデザインのもの(グラデーション等)であっても着用を認める。ただし、その試合を担当するレフェリーによって、そのようなデザインのユニフォームが対戦チームのユニフォームとの区別がつきにくくまぎらわしいと判断された場合には、ホームチーム、ビジターチームにかかわりなく、ルール上の規定に違反しているユニフォームを使用しようとするチームに対し、ユニフォームの交換もしくはベスト着用をさせることとする。

④ 全国大会およびその予選会において、単独チーム名で出場する場合(補強選手を認めた大会において、単独チーム名で出場する場合)は、国際競技規則240条a項の規定どおりに、同じユニフォーム、パンツ、ストッキングおよびヘルメットを着用することとし、番号の表記についても規定通りの解釈を適用するものとする。なお、選抜・合同チーム名により参加が認められたチームについては 最低限同一のユニホーム・ストッキングを着用しなければならない。

2006-2010シーズン
ローカルルール
(変更版)



- ⑤ ヘルメットにテープ・シール等を貼り付けることは構わないが、その試合を担当するレフェリーが基本となる色を明白に判別できず、そのチームの同一色と認められないと判断した場合は、チームスタッフに対してその選手のヘルメットの交換もしくはテープ・シール等をはがすよう注意をするものとする。その後も適切な処置をせずプレーに参加した場合は、中断時にそのプレイヤーの交代を命じ、直ちに交代選手を氷上に出場させることとする。(ペナルティーは科せられない。)
- ⑥ スッキングに過剰にテープを巻きつけ、その試合を担当するレフェリーが明らかにそのチームの同一色と認められないと判断した場合、上記⑤と同様の手順をとるものとする。

※⑤⑥に関しては、ルールの問題ではなく、選手の資質の問題である。事前の会議において周知徹底とともに、チームスタッフの指導も必要となる。

各加盟団体主催大会においては、普及の面も考慮し大会規定等によって独自の規定を設けることは認められるが、最低限同一のユニフォームとスッキングの着用を奨励する。

◎第260条 用具の計測

用具の計測が出来る状況については、ルールブック・ケースブックの記述通りの解釈を適用するが、アピールできる回数については、各加盟団体主催の大会規定等により制限を決めるものとする。

◎第422条 タイムアウト

- ① 全国大会およびその予選会において、1ピリオド20分正味時間での競技が定められている場合には競技規則に従いタイムアウトをとることが出来る。ただし、1ピリオドの正味の時間が15分以下と定められている場合には、大会規定等により定めるものとする。
- ② 各加盟団体主催大会においては、大会規定等により独自の規定を定めても構わない。

◎第430条 勝敗の決定

没収試合の場合は、記録上15対0として処理される。但し、勝利を宣告されたチームがその時点で16点以上得点している場合はその得点を、また没収(敗戦)を宣告されたチームについては常に0点として記録されるものとする。



◎ 第555条 不正または危険な用具

<変更前>

選手の怪我防止の観点から、プレイヤーの用具が正しく着用されているのかを確認するため、以下の通り日本国内における手順を定めるものとします。なお、この規則の適用は、各種全国大会（その予選会含む）においては義務付け、各加盟 団体主催大会においては強く勧告することとします。その場合は、競技要項・監督会議等において事前に通達することとします。

- ① 試合前の整列時に、レフェリーが両チームのプレイヤーの用具着用状態を確認する。
- ② プレイヤーは、すべての用具を正しく着用した状態で、ブルーライン上で待機する。
- ③ 正しく着用されていないプレイヤーには、改善することを指示し、ベンチに対し1回目の警告となり、次からはミスコンダクト・ペナルティーを科すことを伝える。
- ④ 試合が開始され、警告を受けたチームのいかなるプレイヤーが2度目の違反を犯した場合、そのプレイヤーにミスコンダクト・ペナルティーを科す。

<変更後>

IIHFルールをより厳格にするため、警告なしに1回目の違反よりただちにミスコンダクト・ペナルティーを科すこととする。

整列時の防具チェックを導入して2シーズン弱経過したが、このシステムが浸透してきたとともに、安全にプレーするということについては、チーム・プレイヤーの責任（資質）の下守られるルールであると理解し、今シーズンより整列時の防具チェックは行わないこととする。

尚、これは相手チームからのアピールでは受け付けず、レフェリーの判断によるものである。

（アピールはスティック及び用具の計測のみである。）

★プレー中の事故を最小限にするため、周知徹底をお願いします。



☆競技規則におけるローカルルール

<変更前>

- ① ピリオド終了時に、両チームが同一通路を使用してリンクより控え室に退場する場合、リンクの構造上を問わず、必ずホームチームから先に速やかに退場することとする。

<変更後>

- ① ピリオド終了時に、両チームが同一通路を使用してリンクより控え室に退場する場合、原則としてホームチームから先に速やかに退場することとする。但しリンクの構造上無理が生じる場合には、代表者会議や事前の協議において様々なケースを認めること。その際、両チームが同時にならないよう、必ず一方のチームから退出すること。
なお、後のチーム(氷上にいるプレイヤー・ゴールキーパー含む)は、一度自チームのベンチに戻りレフェリーの指示により氷上から退場することとする。先のチームが故意に退場を遅らせたり、後のチームが故意に自チームのベンチに戻らなかつたりした場合は、レフェリーの判断により違反したチームにベンチ・マイナーペナルティを科すことが出来る。
- ※ この規定は、ルールブック及びケースブックには記載されていないが、IIHF主催大会では以前より実施・徹底されていることである。この目的は、ピリオド終了時の余計な争い事を未然に防ぐ為である。これにより、ピリオド終了時のオンアイスオフィシャルの役割(ポジショニング・プレイヤーコントロール)が重要となる。

- ② 高校生以下(国体少年の部含む)の大会において、プレイヤー、ゴールキーパーはもちろんのこと、チームスタッフ(マネージャーまたはトレーナー)としてベンチ入りする児童・生徒についても、危険防止のため必ずフルフェイス・マスクの付いたヘルメットの着用を義務付けるものとする。レフェリーは、規定に違反している児童・生徒を発見した場合、チームスタッフに対し該当者をベンチから退出させるように注意し、正しい装備をしてからベンチ入りを認めるものとする。この場合ペナルティー(ベンチマイナー)は科せられない。(社会人・女子等の大会で年齢カテゴリーが混在する場合は、各大会規定等により決定するものとする。)
- ※ 上記①②については、事前の会議において周知徹底してください。
- ※ 各加盟団体主催大会においても実施するようお願いします。

網掛け部分は 2008 年 8 月 1 日より変更する条項